町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回
第４７４号

1
2008

謹賀新年



勝山小学校収穫祭

１２月１日（土）勝山小学校で収穫祭が実施されました。春の田植えから始まり、秋の稲刈りそして待ちに待った収穫祭。当日はＰＴＡの方たちや地元の方が大勢集まり、餅のつき方の実演をすると初めて杵を持った子どもたちは慣れない手つきで餅つきを楽しみました。ついた餅は各学年できなこもちや、雑煮などにして味を楽しみ、子どもたちに笑顔が見られました。

会食の後は幼稚園児の神輿や屋台、小学生の祭囃子が会場を盛り上げ、今年の収穫祭も無事幕を閉じました。

めでとうございます

『協働推進の年に』



町　長
白　石　治　和

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、私にとりまして、皆様のあたたかいご支持のもと、引続き町長の重責を担わさせていただくこととなり、ここに新年を迎え、町民が安心して暮らせますよう、全力を尽くす決意を新たにしております。

昨年を顧みますと、大きな災害もなく、穏やかに過ぎた一年であるといえますが、我が国の経済は、景気回復の状態が続き、上向き傾向であると言うものの依然厳しい雇用、経済状況が続いています。地方自治体においては、補助金や地方交付税の大幅な削減を強いられ引き続き厳しい財政状況が続くものと思われます。

地域社会を取り巻く状況も大きく変化してきております。昨年の７月には、東関東自動車道富津館山線が全線開通となり、都心から１時間圏内となりました。今後は更なる産業の発展、そして、観光振興の一助となることを願っております。

さて、本年は長年の懸案でありました、勝山小学校新校舎が完成する年であり、一日も早く新しい教室で授業が受けられますよう準備を進めております。

佐久間小学校が勝山小学校と統合することになり、１３５年の歴史を経た小学校が、本年３月末で閉校となりますが、新しい教育環境での児童の成長に期待をしております。

また、新春におきましては、いち早く早春の香りをお伝えする水仙まつりの実施や２月から４月にかけては、桜まつりを実施いたします。多くの観光客が訪れ、交流人口の増加につながるものと期待をしています。そして、「海・山・里」それぞれ地域の個性を活かしながら、町活性化にむけ、町民協働により広域的な取り組みを行って参りたいと考えております。

本町では、希望と活気があふれる豊かな鋸南を将来像として、町民の皆様の視点に立ち、ご理解とご協力をいただきながら、まちづくりに努めております。

地方分権時代を迎え、町民の方々が主役の真に自律した自治体として、将来にわたり大きく飛躍していくための基礎を築くべく、なお一層の努力を重ねて参りますので、町民の皆様には、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の、ますますのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

今年は子年

今年は子年。昔は夜になると、ネズミが天井裏を走り回り、チュウチュウと鳴く声が聞こえたりしたものです。最近は純粋な日本家屋が減ってきているためか、家屋の構造が変わってきたからか、都会では天井裏を走り回ったり鳴いたりしているネズミは、少なくなってきたのではないでしょうか。

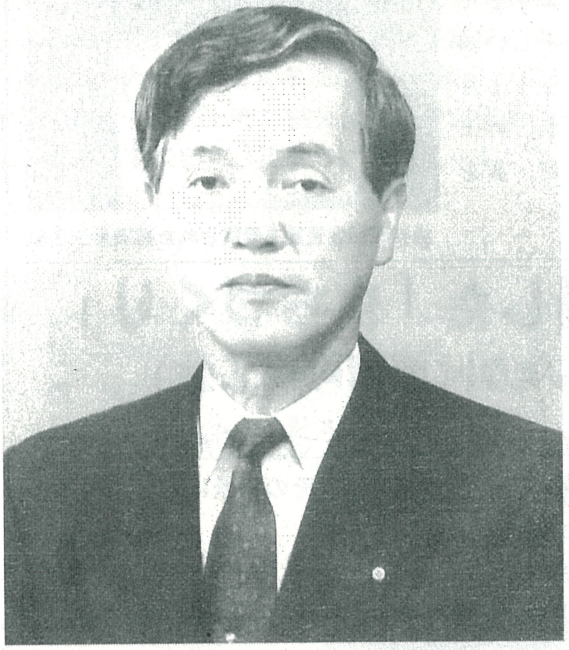


ネズミは、数も種類も多く、哺乳類の約半数、千七百種を占めるといわれています。しかも、ほぼ全世界に分布しています。ネズミ算という言葉もあるように、繁殖力が旺盛で、1回に20匹の子を生む種類もあります。

人間は、昔からネズミの害に悩まされています。ノネズミは農作物を荒らし、牧草地の草の根を食べたりします。イエネズミは貯蔵食料を食べ、ときには電線やガス管をかじって人

新年あけましてお

『厳しい状況に対応できる議会活動』



議会議長
金木郁男

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい新春を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。就任以来、議会の活性化に全力を傾注してまいりましたが、町民の皆様からの温かいご指導ご厚情に対し、お礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、安倍内閣から福田内閣へ、ねじれ国会、テロ特措法、年金記録、賞味期限切れなど、社会・政治経済問題が表面化した１年であったと思います。

また、依存財源割合の高い本町では、依然として大変厳しい運営を強いられていますが、勝山小学校の建設工事着工、館山道の全面開通など懸案とする案件が解決してまいりました。

議会といたしましては、もとより、財政、町民生活の先細りを容認するものではなく、総合的な教育施策、福祉政策などにリーダーシップを持った積極的な対応が強く求められているものと思います。そのような中にあって、持続的な町政運営が実現できるかどうかは、地方自治の担い手である町民の熱意と創造によるところが大きいと思います。皆様の負託によって議会に送られる議員は、その役割の大きさを今更ながらに自覚をし、崇高な精神から活動に取り組む所存であります。

ますます議会としての機能の重要性が問われている中からも、鋸南町の将来に悔いが残らないような活動をし、町当局との連携の中から、議決権という与えられた権能をしっかりと受け止め、議論を深め積極的に発揮してまいります。

町民の皆様の希望が町政に活かされますよう１２人の議員１人ひとりが自己研鑽に努め、まちづくりのために一同邁進してまいります。鋸南町議会にこれまでにも増して関心をもっていただき、ご意見を頂戴したいと思います。

平成２０年のはじめにあたり、皆様のご健勝とご活躍を祈念し新年のあいさつといたします。

身近

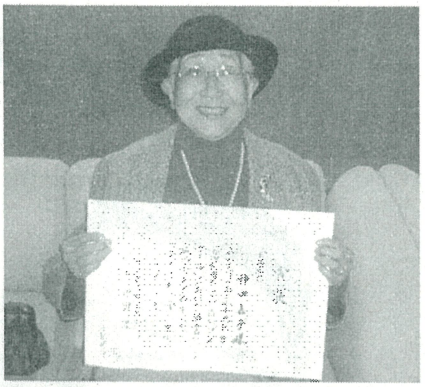
な動物だけに、ことわざにもしばしば登場します。弱者でも追いつめられると強者に逆襲するという意味の「窮鼠猫を噛む」や、前ぶれの騒ぎばかり大きくて、実際の結果は極めて小さいことの例えである「泰山鳴動して鼠一匹」などは、よく知られています。「頭の黒い鼠」とは、頭髪の黒い人間をネズミになぞらえて、物を盗む人のことです。「鼠の嫁入り」は、あれこれと選んでみても、結局は変わりばえしないところに落ち着くという例えです。

さて、子年は十二支のトップ。昨年は、天災や事件の多い暗い年でしたが、今年は気分一新して、いい年になりますように。

間を困らせたりします。また、下水道などの不衛生な場所を通り道にするため、伝染病でもあるペストをもたらすこともあります。古代アテネやローマ帝国が滅亡したのは、ネズミがもたらしたペストのためだという説もあります。一方、ネズミの仲間でもハムスターなどの種類は、実験動物として医学の進歩には欠かせません。

よい歯のコンクールで千葉県歯科医師会長賞受賞

千葉県高齢者よい歯のコンクールで安房の代表として鋸南町の神田嘉子さん（８１）が県の審査に進み、見事に千葉県歯科医師会長賞を受賞しました。この高齢者よい歯のコンクールは、歯の健康に優れている高齢者を表彰することで、生涯にわたって自分の歯で食べられるように歯科疾患の予防の正しい知識の普及啓発するために、毎年、開かれています。表彰式は平成１９年１１月１５日（木）午後１時から千葉市文化交流プラザ音楽ホールで開催され、神田さんは、「毎日、歯磨きと歯茎の塩磨きを欠かさず行ってきて良かった。賞をいただいて本当に嬉しい。」と語っていました。



歯科医師会長賞を受賞された神田嘉子さん

歴史・文化の地域資源を活用した「まちづくり」

「いさな」による“安房の浜辺は都”プロジェクト（鋸南町商工会）

風光明媚な鋸南町は、古からさまざまな歴史・文化・自然資源の宝庫と言われ、育まれてきました。

この地ならではの伝統が生まれ、後の歴史に多大な影響を与えた偉人達を輩出し、またその風景に魅了された多くの文化人、著名人が訪れた、まさに全国でも有数の歴史に彩られた地域です。

地域に住む私たちも少なからず影響を受けています。鋸南町商工会では今回「いさな」による“安房の浜辺は都”プロジェクト研究会を立ち上げ、各委員会を組織し地域資源を活用した「まちづくり」を行っています。

今回は勝山地区の眠っていた偉大な歴史文化に光をあてます。

古くは古代ロマンに満ちた景行天皇行宮にまつわる伝説・紀元前１１１年の「みささぎ島伝説」・膳の大伴部の称号を与えられた「料理祖神伝説」。「源頼朝天下取りへの再起の碑」「里見水軍の拠点勝山城」千葉県の聖賢者として日蓮以下７人がまつられ崇拝されている「捕鯨の醍醐新兵衛」及び関する歴史資源。「１万２千石の酒井勝山藩陣屋」等の歴史文化と共に地形の特殊性がもたらす自然が残された海と山の景観美。そして海の幸・山の幸がもたらした人間性。これらの地域資源を活用した「まちづくり」「新観光地づくり」をしています。

港通り商店街を中心とした「いさな特別委員会」ではこの忘れられかけようとしている歴史文化を調査「捕鯨史跡めぐりマップ」の作成。子供たちにも自分たちの歴史・文化を知ってもらうための「小冊子」・まちの歴史・文化を案内できる「ガイドブック」の作成・ガイド育成に取り組んでいます。委員商店には昔を知ることができるミニ「まちかど博物館」（現在はイソヤ薬局）を作っていきたいと考えています。

安房の市町行政でも歴史文化を活用した「ニューツーリズム」を企画、昨年１１月には「房総くじらめぐりツアー」が来町し、本年はＪＲが同じく歴史文化・食をテーマにしたツアーを企画検討しています。

地域資源を活用した特産品開発を目指す「鋸南町食文化研究会」ではクジラ肉のパウダー化に成功。クジラパウダーを入れた煎餅「イサナシンベイ」、うどんに入れた「いさなうどん」を現在試作中であり、港通りおかみさん会ではクジラクッキーを好評発売しています。又、アジを使った「アジのつみれ」も好評発売中であり、クジラをテーマにした「シンボルマーク」も決まり、町を上げての特産品開発ブームをおこし、今までの一次産品より二次三次産品の付加価値を付けた、まちづくりにしていきたいと考えています。

捕鯨史跡関係から日本捕鯨協会との特別関係地区になった商工会では、「鋸南クジラ食文化研究会」を設立。房州特産の歯鯨で赤身だけのツチクジラのみでなく、ひげクジラであるミンククジラ等６８部類に分けられる肉を使った料理の提供研究やクジラ肉を使った料理特産品を研究しています。

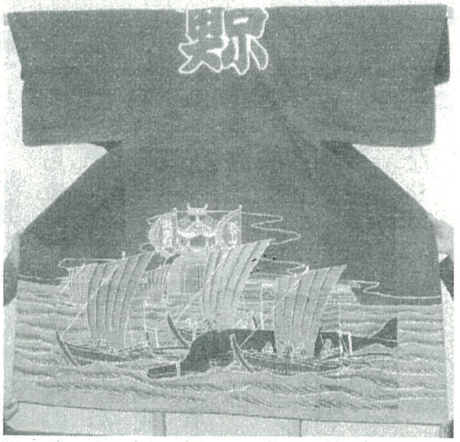
これからのまちづくりは、自分たちの住んでいる自然・歴史・文化を子どもや孫に伝え、自分たちの鮮麗されたまちを誇りに思い、地域のコミュニケーションをそのままに、観光客とも手厚く接することができる「まちづくり」をしていきたいと思います。

なぜならそれがこのまちの最大の宝ですから。

「いさなとる　安房の浜辺は　魚篇に　京という字の　都なるらん」

大黒山にある蜀山人の捕鯨繁栄の碑

（いさな＝勇魚＝鯨、京＝おおきい＝にぎわう都）



勝山醍醐組の万祝

第１回鋸南町町民ボウリング大会開催

１１月１６日（金）に、館山市アタックレーンで『第１回鋸南町町民ボウリング大会』（鋸南町体育協会主催）が開催されました。大会は体協ボウリング部員の他、町内在住（勤務者）の方４１名が参加。日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。結果は男子の部優勝は松岡直行さん、女子の部優勝は三宅夏未さんとなりました。

上位入賞者は以下のとおりです。



男子の部優勝
松岡直行さん



女子の部優勝
三宅夏未さん

男子の部

優　勝	松岡直行	６６９	４　位	岩崎昭二	５１１
２　位	岩崎丈夫	５６２	５　位	富永昇一	４９４
３　位	池貝　裕	５３１	６　位	平嶋　隆	４９２

（スコアは３ゲームの合計スコア）

女子の部

優　勝	三宅夏未	３８５
２　位	志水ゆきえ	３２２
３　位	東瀬淳子	３２２

県Ｂ＆Ｇバレーボール大会に勝山幼小ＰＴＡチーム出場



出場した勝山幼小ＰＴＡチームのメンバー

１１月２５日（日）成田市大栄Ｂ＆Ｇ海洋センターで千葉県Ｂ＆Ｇ海洋センターバレーボール大会が開催されました。この大会は県内のＢ＆Ｇ海洋センターで活動する婦人バレーボール愛好者の親睦と技術向上を図るため、毎年Ｂ＆Ｇ海洋センターをメイン会場として開催されるものです。出場チームは全１２チーム、町からは勝山幼小ＰＴＡチームが主体となって出場しました。

予選リーグでは昨年２位の横芝、３位の岬と強豪との対戦となり善戦しましたが惜しくも予選敗退となってしまいました。出場したメンバーは「負けてしまったが、強いチームと対戦できてゲームを楽しむことができた。また機会があれば出場したい。」と話していました。

「ちばエコ農産物生産者」として認証

４年前から家庭菜園作りを始めた平林尚さん、和子さんご夫妻（両向区）が、この度「ちばエコ農産物生産者」として認定を受けました。ちばエコ農業とは化学肥料や農薬を減らし環境にやさしい農業を行うことで、消費者に安心・安全な農作物を供給する取組です。千葉県では平成１４年から取り組んでいます。「食は健康の源」というこだわりから野草や自然界の微生物・菌類などで畑を肥やし、旬の野菜を作っています。現在認証を受けている野菜は７品目。「これからも数多くの野菜作りに挑戦していきたい」と話していました。



平林さんご夫妻。道の駅直売所にて

民生委員・児童委員及び主任児童委員の一斉改選



民生委員・児童委員及び主任児童委員の一斉改選があり民生委員・児童委員２４名、主任児童委員２名の方に、厚生労働大臣及び千葉県知事から委嘱状が交付されました。

任期は、平成１９年１２月１日から平成２２年１１月３０日までの３年間ですが、町との福祉行政全般におけるパイプ役として、又、担当地区での福祉増進を図るための諸活動をお願いしています。

介護通信　「福寿草」

楽しく笑って介護予防　＜生活機能向上事業「笑楽の会」＞

～笑楽の会～

毎週火曜日
老人福祉センターを会場に認知症予防・筋力維持を目的として事業を実施しています。

○午前中は看護師の健康チェック後に入浴。会食をした後、午後からは楽しみながら介護予防に取り組んでいます。

○介護予防の内容は、ストレッチ体操・リズム運動・あみもの・手芸・脳リハビリゲームなどです。

○対象者は介護予防検診で医師に介護予防が必要であると判断された方です。



牛乳パックを利用した椅子を作りました！！
みんなで老人福祉センターで使っています！

地域包括支援センターからのお知らせ

鋸南町社会福祉大会《講演の部》
認知症にならない…！　なっても暮せるまちづくり
～地域でできる「目くばり」「心くばり」～

日時：平成２０年１月１２日（土）　開会　１３：００～（式典・作文発表）
講演　１４：００～１５：３０
会場：鋸南町中央公民館　多目的ホール
講師：和光病院院長　斎藤　正彦　医師

《プロフィール》
東京大学医学部卒。専門は高齢者の精神医療。著書に『親の「ぼけ」にきづいたら』(文藝春秋)、『チームアプローチのために老年期精神医学』(新興医学出版社)など多数。

《講演会参加申し込み先》参加を希望される方は１月８日（火）までに☎５０－１１７２
鋸南町地域包括支援センター（すこやか内）までお申し込み下さい。
〈主催〉鋸南町社会福祉協議会　〈後援〉鋸南町

「困ったな・・・・」そんなときは、司法書士にご相談下さい

◇法律相談・少額裁判（敷金返還、未払給料など）
◇クレジット・サラ金のトラブル
◇土地建物の不動産権利登記　など

千葉司法書士会による無料相談！（要予約）

開催日時　毎月第４土曜日（祝日除く）
１０：００～１２：００
１３：００～１５；００
※次回相談会は１月２６日（土）です。
相談時間　原則として、お１人約１時間
相談会場　館山市コミュニティセンター
（館山市北条７４０－１）
ご予約は電話で　ちば司法書士総合相談センター
☎０４３－２０４－８３３３
予約受付時間　平日１０：００～１７：００
なお、緊急を要するご相談はお近くの司法書士をご紹介いたします。まずはお電話下さい。

鋸南病院　“ふれあい広場”

鋸南病院では、毎月「ふれあい広場」健康教室を開催しています。今回のテーマ「Ｘ線検査の受診方法」と題して当院放射線技師の川﨑実が講演します。
また、質問などにお答えしますので、お気軽にお出かけ下さい。

◇日　　時　**１月２４日（木）**１３：３０～
◇場　　所　鋸南病院１階待合室
◇問合せ先　鋸南病院　☎５５－２１２５

老人福祉センター「笑楽の湯」休館日

１月　１日（火）　２日（水）　３日（木）
４日（金）　７日（月）　１５日（火）
１６日（水）　２１日（月）　２８日（月）

１月のお風呂の日は１月２６日（土）「ミント風呂」

◇開館時間　９：００～１６：００
◇入浴時間　１０：００～１５：３０
◇問合せ先　老人福祉センター
◇電話番号　☎５５－８８３０



つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（70）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

①高校卒業後、入社した新平にお世話になっています。上総湊店に勤務して２５年になります。これからもお客様とのコミュニケーションを大切にして、お客様に喜んでもらえるように頑張りたいと思います。
　趣味はバレーボールやバトミントンなど仲間と楽しく体を動かす事です。
②先日、Ｂ＆Ｇバレーボール大会が成田であり、若いママさん達と一緒に参加してきました。試合は負けてしまいましたが、楽しい１日になりました。この頃は自分の子供と同年代の子達と楽しくバレーをしています。これからも仲間づくり、体力づくりの為にもスポーツは続けたいと思います。
③近頃、いろいろな犯罪が増えています。鋸南町全体が暗いように感じます。街灯を増やすなどして、道路が明るくなれば防犯にもなると思います。町民が安心して暮らせる町づくりをお願い致します。



吉田　晴美さん（両向区・会社員）

次回は髙梨　留美さん（田町区）へバトンタッチされます。



川名　弘晃さん（中原区・会社員）

①船橋より保田に住み３年が経ちました。職場は勝浦にある洗面カウンターやシステムキッチンカウンターを造る会社で、片道１時間１０分を頑張って自動車通勤しています。
　私は、洗面カウンターの製造を担当していますが、旅先のパーキングや各施設で自分の手掛けた製品を見ることもよくあります。
　趣味は、サーフィン・旅行です。こちらに来て、サーフィンを通じて大切な仲間と知り合い、又その他の仲間と知り合うことができました。波がある日はもちろんサーフィンですが、波がなければそんな仲間達と釣りをするのも楽しみの一つです。
②様々な人との出会いの中、掛け替えのない人との出会いもあり、今年５月に結婚しました。と喜びもつかの間…１０月には妹が結婚し、川名家喜びと激動の一年となりました。
③鋸南町は、海と山と恵まれた環境であるにもかかわらず、そこが生かしきれていない様に思います。最近、保田海岸駐車場にはナゼ？と思う様な変化もありました。そうではなく、たとえばこの保田の海という観光資源を生かした集客→周辺施設→商店街→町全体へとの仕組みづくりをし、鋸南町全体の活性へと繋げて欲しいと思います。

次回は渡邉　正人さん（元名区）へバトンタッチされます。

「江戸のヒーロー展」開催中

菱川師宣記念館では、２月３日まで「歌舞伎に見る江戸のヒーロー展」を開催しています。
　江戸時代、庶民の娯楽として定着した歌舞伎は、さまざまなストーリーが誕生し、弱きを助け悪をこらしめる主人公には、人気の役者たちが演じ、庶民の拍手喝さいを浴びました。粋でいなせな江戸っ子の代表の助六、仇討ちの本懐を目指す曽我兄弟や忠臣蔵の浪士、あやしげな妖術を使い波乱万丈な活躍をする児雷也（じらいや）や平良門（よしかど）、石川五右衛門。彼らは時として世間からはずれたアウトサイダーですが、その反骨精神で権力に立ち向かうという姿勢が、江戸っ子の共感を呼び、またたく間に英雄として不動の人気を得ました。歌舞伎の主人公には、まさに江戸っ子たちが求める究極のヒーロー像が現れているのです。
　この展覧会は、浮世絵に描かれた歌舞伎の中のヒーローやヒロイン、悪役や無法者たちを取り上げ、当時の庶民を熱狂させた江戸のヒーローたちの魅力にせまります。

町民入館料　　大人　二〇〇円
　　小・中・高校生　一〇〇円



妖怪を斬る宮本無三四

家庭教育通信No.77 すくすく

江戸仕草

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。年が明けると同時に昨年一年を振り返ってみてはいかがでしょうか。今年の目標が見えて来るかもしれません。

さて、今回の題名は「江戸仕草」です。聞き覚えのない言葉かもしれませんが、小学校の学校教育に取り入れ、研究発表なども行われています。

現代社会においてのマナーや、また子育てに関しての考え方、しつけなどが参考にされ大変興味深い内容となっております。

●時代背景

江戸の町は、一八世紀には人口が一八〇万人に達し、当時世界最大の都市となっていました。江戸の市街地の大半は武家の住居により占められていたので、町人層の人口密度は、現在の豊島区の三倍にも達していた程です。

このような暮らしぶりではあったが、江戸の町民はこの生活を結構楽しんでいたようでした。

●子どもの教育

江戸っ子は子どもの教育に特に力を入れていたというわけではなく、当たり前の事を教えるというような発想だったと言われています。

「三つ心、六つしつけ、九つ言葉、十二文、十五理で末決まる」

数字は年を表します。三歳までは素直な心を、六歳になるとその振る舞いに節度を持たせ、九歳では人様の前でも恥ずかしくない言葉遣いを覚えさせ、十二歳ではきちんとした文章が書けるようにさせ、十五歳になると物の道理がわかるようにしなければならないというものです。この教えは現代にも通用する教育論です。

「お心肥やし」

人は教養豊かでなくてはならないということを重んじました。ここでいう教養とは読み書き算盤のほか、人格を磨くことが何よりも大事だという意味合いが強く込められていたそうです。

「三脱の教え」

初対面の人に年齢、職業、地位を聞いてはならないとされていました。これは、相手を思いやる心と、人を肩書きだけで判断してはならないとの教えでした。

このように江戸の人々は子育てを実践していたといわれています。

その実践により、様々な社会的美学が生まれてきたと言われています。

●代表的江戸仕草

「肩引き・傘かしげ」

人込み、狭い道で人とすれ違うとき、お互いに肩を後ろへ引くこと。ぶつからないように、相手の行く手を遮らないように、互いの胸と胸をあわせて体を斜めにした格好ですれ違います。「傘かしげ」は、雨の日の仕草です。傘を人のいない方へ傾けてすれ違えば、滴で相手をぬらさずにすみます。

「こぶし腰浮かせ」

こぶしで自らの腰を浮かせて、乗り合い船などの席に少しでも多くの人が座れるように、皆でぎゅっとつめて、隙間を作ります。それがこぶし腰浮かせです。

どちらも、相手を思いやる気持ちが前提となっております。

これは幼少からの教育の中に、自分を磨き、相手を尊重することを第一義としたゆえんです。

●もったいない

ノーベル平和賞を受賞したケニア出身のワンガリ・マータイさんは、「もったいない」という日本の言葉に感銘し、世界に「もったいない」精神を広めてくださっています。

江戸時代にも、「もったいないから大事にしよう」という意味で、「もったい大事」という言葉を使っていました。食事の前には「大江戸のおかげさまで、今日も一日心と体にぬくもりの糧の頂けることをありがたく思いよくかみしめていただきます」とか、「お百姓さんありがとうございます」などと感謝の言葉を述べたようです。

大事なものをみんなの共有物と考え、相手を尊重し思いやる心。江戸仕草には二十一世紀を快適に生きるためのヒントが詰まっています

教育委員会 ☎55―2120

健康通信

「腎機能異常」

腎臓の病気は30以上もあり症状も様々です。代表的なものには急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼなどがあります。大半は進行性で、またかなり進行するまでは自覚症状が現れません。特に大人に多い慢性腎炎は20～30歳代の働き盛りの男性に多く発症します。慢性腎炎は急性腎炎が治りきらず慢性に移行する場合もありますが、その多くは原因不明で、健診や風邪などの検査で発見されます。

腎臓の疾患は、早期治療で進行の速度を緩めることが大切です。症状が悪化し、慢性腎不全になると人工透析や腎移植をしないと生命に危険をおよぼすこともあります。慢性腎不全には、高血圧がもとになって起こる腎硬化症や糖尿病がもとになって起こる糖尿病性腎症が原因となることもあるのでこれらの病気にかかっている人も注意が必要です。

腎臓が悪いと次のような症状があります。顔やまぶた・手足がむくむ、尿のにごり、尿量減少、食欲がない、吐き気が続く、体がだるい、根気がない、腰のまわりが痛い・重苦しい、頭痛やめまいがあるなど。このような症状に気づいたら早く受診しましょう。

腎臓をまもるためにも生活習慣が大切です。まず過労を避け十分な休息を取りましょう。風邪をひかないことも重要です。風邪などのウイルスが急性糸球体腎炎を起こすことがあるからです。食事では良質のたんぱく質を適量取ることが重要です。たんぱく質の取り過ぎは腎臓に負担をかけます。塩分の取り過ぎにも注意しましょう。一日に摂取する塩分量を10g以下にするのが理想です。腎臓が悪くなると野菜や果物の取り過ぎに注意しなければいけません。野菜や果物はカリウムを多く含んでおり、腎機能が悪くなると血液中のカリウムを排泄できなくなり、心臓の機能に異常をきたすことがあります。高血圧や糖尿病などがある人は、定期的な検査・治療と生活改善を継続する必要があります。これらの病気を放置すると合併症として腎臓病が発症するからです。

（保健福祉課健康推進室）

歴史資料館

●連載173

江戸時代の結婚・離婚

宗門改めできっちり管理

江戸時代の戸籍である人別帳に基づいて、各自の宗旨を調べ、檀那寺に証明させて、毎年幕府に提出したのが、宗門改め帳です。これはご法度のキリシタン信者などを取り締まるために生まれた制度です。

元名村岩崎家文書の中に、これにかかわる訴訟事件があります。金谷村の本覚寺の檀家である元名村の平助が、宗門改めの時、本覚寺に判をもらおうとしますが、拒否されました。平助の奥さんは存林寺の檀家です。本覚寺が、あんたの奥さんも一緒に檀家にするなら判を押すけれど、奥さんの宗派が違っていたんでは判は押せないと言い出したのです。困った平助は、領主に訴え、幕府の寺社奉行までいって裁判になってしまいます。結論から言うと、これはお寺側の負けです。何年も夫婦別の檀家を容認しておきながら、今になって何を言い出す。ということです。このように夫婦が別の寺の檀家というのは、けっこうあったようです。

当時の結婚というのは、嫁ぎ先、婿入り先の村の人間になるということで、人別帳から除外し、新しい村の人別帳に書き加えられます。これを人別送りと言います。仲人を立てて話がまとまると、名主に届け出て、名主は領主に届け出ます。いよいよ結婚となると、嫁ぎ先の村名主あてに人別送りの書類を出し、受け入れ方の名主は、自分の村の人別帳に加えるという請書を出します。仲人を立てるというのは、必ず第三者に身元を確認させるということで、江戸時代から、こうした戸籍関係がきちっとされていたのです。

離婚したくば駆け込み寺へ

結婚もあれば離婚もあります。離婚には、必ず夫からの離縁状をもらわなければなりません。俗に「三くだり半」と言いますが、これは、離縁状の形式がほぼ決まっていて、文章が三行半に書かれているという意味です。内容を簡単にすると、縁がなく離縁するからには、互いに恨みはなく、今後どこへ嫁ごうとも私は決してかまわない。という内容です。大事なのは最後の個所で、つまり、この離縁状がなければ、再婚ができないことになります。

しかし中には、離婚を絶対許さない夫がいるのは、いつの世も同じこと。最後の手段として妻が頼みとしたのが駆け込み寺（縁切寺）です。この尼寺に駆け込めば、寺が保護し、夫と離縁させてくれます。そうはさせじと追っかけてくる夫に、門前で捕まってしまっても、はいていた草履を門に投げ入れれば、入ったと見なし、門番が出てきて保護してくれるのです。

実はこの駆け込み寺というのは、全国で二ヶ所しかありません。鎌倉の東慶寺と群馬の満徳寺です。東慶寺は北条時宗の妻、覚山尼の開創で、女性救済の尼寺として、代々身分ある女性が住持しました。豊臣秀頼の娘が天秀尼として入った寺でもあります。満徳寺は、徳川氏発祥の地にあるゆかりの寺で、豊臣秀頼の妻千姫が、大坂の陣ののち、この寺に入り、豊臣との縁を切ったということから、いずれも幕府から縁切寺として保護されてきました。

寺では事情を聞いて、強制的に夫から離縁状を取ってくれます。それだけの権限をこの尼寺は与えられていました。ここで二年間尼となるのを義務づけられるのですが、還俗してまた社会に出たいと希望する女性は、その半年前くらいから髪を伸ばすことを許され、髪が結えるような形にして、出してあげました。



鎌倉東慶寺

生涯学習 みんなで学ぼう

「歴史観光ガイドボランティア養成講座」

公民館では、地域振興課と連携して歴史観光ガイドボランティアの養成講座を開催しています。この講座は全１０回で講師は歴史民俗資料館の学芸員笹生浩樹が担当します。

鋸南町には、菱川師宣の生誕地・吉浜妙本寺・源頼朝上陸地・大黒山の醍醐新兵衛の墓・佐久間十王堂・・・など歴史的遺跡や伝説がたくさん残っています。

この講座では改めてこれらの事について学び・町の良さを再発見して行きます。私たちも観光に行ったときにパンフレットなどにはない話を聞けるとうれしい気分になれます。

これから冬に向けて水仙観光のシーズンが訪れます。この方たちが活躍してくれると良いですね。



町の史跡をめぐって

わんぱく登場



飛翔くん　１歳１か月

〔大胡範明さん　第１子　大雌子〕

鋸南町の皆様あけましておめでとうございます。僕にとって２回目のお正月です。思えば１年前はおっぱいだけ飲んでたけど今年はいろいろごちそうも食べられます。今年の抱負は①ひとりで歩くこと②日本語の上達③虫歯予防に決めました。「お昼寝はママにおんぶして始めること」は延長させてください。

桜だより

明けましておめでとうございます。

町では、花いっぱい事業として町内全域に皆様のご協力を得て、日本水仙をはじめとする四季折々の花木を植栽し、美しい町並みを創るとともに観光資源としての活用を図っています。

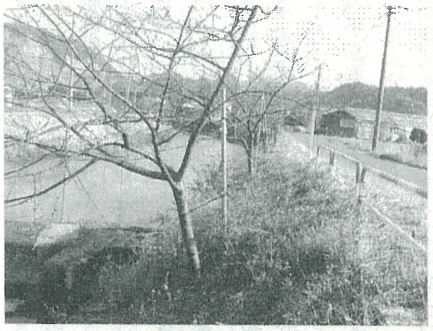
この時期からは水仙が見ごろとなり、続いて平成13年から植栽を実施した河津桜、大漁桜などの早咲き桜が見ごろとなるでしょう。

桜の植栽事業として保田川沿いに600本他、下佐久間JR線路沿いや佐久間ダム周辺など町内全域で約一万二千本が町民の方々のご協力により植栽されました。

初年度に植栽された苗木も太いものでは幹まわりが43cmにもなり2月中旬にはたくさんの花が咲くでしょう。

町では、開花状況のお知らせや、ライトアップなどを行い、大勢の皆様に鑑賞していただきたいと思っています。

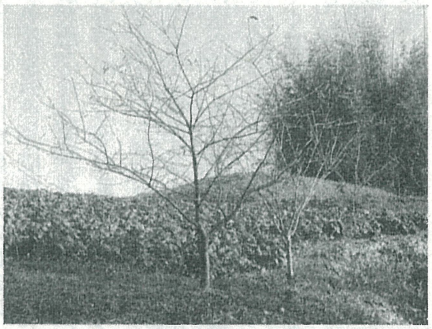
また、「保田川沿いの桜を活用したまちづくりワークショップ」も開催しており、今年の2月末に竹灯篭によるライトアップも計画されています。詳細が決定次第お知らせいたしますのでお楽しみに。



佐久間川沿い



保田川沿い



小保田日向畑

B&G NEWS

◆温水プール開放時間
13：00～21：00
（17：00～18：00は休憩）
土・日曜日は10：00～17：00
（12：00～13：00は休憩）
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
（町民）　小中学生200円・一般400円
※幼児は無料

≪B&G体験クルーズ参加者募集中！≫

B&G財団では、団体生活において、社会性を習得させ、豊かな人間性を育むことを目的に「体験クルーズ」を実施しています。クルーズを通して海や船について学び、また寄港地ではホエールウォッチング等の自然体験活動を行います。

実施期間　平成20年3月26日～3月31日　5泊6日
対　　象　小学4年生から中学3年生の男女
参 加 費　80，000円
◇問い合せ先　　鋸南町B&G海洋センター　☎55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

（11月25日から12月15日迄の届出分）
おめでとう！

名　前	生年月日	両親の名前	地　区	わが子へのメッセージ
☆田中　翔音（しおん）くん	平成19年11月10日	孝　嘉・睦　都さん（第1子）	中道台	一度の人生を楽しく元気に過ごして下さい。

善　意　の　寄　付

朝市組合代表　福原　敬一様　11，000円　景観整備寄付金
千葉美装株式会社　代表取締役　久江　忠様（南房総市）　50，000円　景観整備寄付金

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。
一部希望に添えない場合もあります
◇総務企画課 広報担当
☎55－4801

人の動き・・・・・

世帯数	3，758世帯	（－1）
人　口	9，715人	（－18）
うち男	4，657人	（－13）
女	5，058人	（－5）

12月1日現在（前月比）

編集後記

新年明けましておめでとうございます。昨年4月号から5日発行の町報とおしらせ版を1冊にまとめましたがいかがでしょうか。一人でも多くの方に読んでいただける町報を発行していきたいと考えていますので、ご意見等ありましたらお知らせ下さい。今年も町報・おしらせ版共によろしくお願いします。（T）